

「地域医療を支える四国病院経営プログラム」2020年度修了者満足度アンケート集計
(修了生15名うち回答14名)

質問1：プログラムを受講したことは現在、役に立っていると思いますか。

はい 13

いいえ 1

質問1の回答について、それぞれ理由をお書きください。

「はい」の回答者

- 今プログラムのテーマであるOODA理論は、COVID-19感染症による非連続な変化に対し病院経営改善を図る上で有効。
- 混沌とした状況や課題を解決する上で必要な考え方のコツが学べた。
また、医療問題を様々な方角からみていくことの重要性やデータの取り方を学ぶことができた。
- マネージメント、組織行動等で、チームを作っていくにあたり活用させてもらっています。

- ・意思決定をする際、考えるべき視点が増えたと思います。
・実習を通じて、自分の課題が組織にどのように影響し貢献するのか、より高い視点で考えることができましたし、自分が気にしていなかったポイントを講師の先生方に指摘いただき、さらに視野を広く持たなければならない、そのためには現場に足を運び、自分の目で耳で確認していこうという思いが強くなりました。
・経営という言葉から、財務諸表が読めるようになりたいと思っていました。臨床の人間としては難しく、読めるには至りませんでした。自施設の経営分析が少しわかるようになり、自分の動き方を考えられるようになりました。
・保健医療、保健医療行政と言った大きな枠組みで自施設の役割や機能を見つめることができ、自施設の向かう方向性を考え、提案できるようになったと思います。
・経営者は何をどのように考えているのかを知ることができました。
・演習の進め方そのものが大いに学びになりました。

- 経営に関する知識を学び得たことで、管理を実践する上での視野が広がった。特に実習で取り組んだ課題は現在進行形であり、計画的に、戦略をもって進めることができている。

- 現状の分析を行う時に、フレームを使うことで、問題点や課題の抽出が多角的に検討することができ、プレゼンテーションの時に理解してもらいやすくなった点。

- 物事に関して、疑問を持ったりする機会が多くなったように感じます。
また、ミッションビジョンを意識して、目標を立てて考えるようになりました。

- 施設の運営状況などについて根拠に基づき客観的に捉えることができた。

- マネジメントに関して、整理・実行が私なりに可能となりました。
医療政策が何に基づき決定されるかが、理解できたので予測しやすくなりました。
会議での発言、資料作成にまとまりが出てきました。
- 問題の解決に向けてフレームワークを利用し、考え方を整理することができるようになった。

質問2：病院実習で取り組んだ課題は改善しましたか。

はい 9

いいえ 5

質問2の回答について、それぞれ理由をお書きください。

「はい」の回答者

- 課題に取り組む上で、内省したり、次どうするかを考え、部署責任者である自分の行動を修正することに繋がった。
- 実習のテーマがすぐに解決するものではなく、On Goingなところがあります。改善したところもあれば、これから目が出るように（種を蒔いている）ところがあります。
- この4月から特定行為の実施が開始となり、多くの課題があったが、実習を通して計画、調整したため、課題を解決しながら進めることができた。
- 内部資源の見直しを行ったことで、以前よりも業務が効率化されたと考えます。
医療機器管理システムに関しては、使いやすさが格段に上がりました。
- 実行途中であるが、職員の意識に何らかの影響があり、心情的に落ち着いたと感じることがあります。
- テーマが大きすぎ、実行できるものではありませんでしたが、検討をする際の資料にできるという点では改善だと思えます。

「いいえ」の回答者

- 多くの部署を絡める必要があり、一朝一夕にはいかない。
- コロナの影響もあり、もう少し分析する必要がある。ただ、ヒトの点ではすでに新たな教育体制を作るべく活動は開始しております。
- コロナの時期の集患は、かなりの困難をきたしている。しかし、差別化である漢方外来が徐々に患者層を拡大しているため、継続して広報を続け、特定検診等にも集患を拡大していく。
- 報酬改定や年度末に伴う業務などがあり、未だ手付かずの状態です。

質問3：研修で身につけた知識等を業務に活かしていると思いますか。

はい 12

いいえ 2

質問3の回答について、それぞれ理由をお書きください。

「はい」の回答者

- 需要と供給のバランスが大切で、それを見ることを心掛けている。

- 自身のコンセプチュアルスキルが向上したように感じている。
- 組織行動論、病院会計の知識を学び、自部署の課題解決に役立てている。
- いろんなフレームワークの使い方、リーダーシップ論、チームビルディングの考え方など、大変参考になりました。これから現場の業務に活かしていきたいと思います。
- 財務等について、今まであまり考えてこなかったが、講義を受講した後は、原価計算をしたり、コストを考えるようになった。
- ・チームビルディング・マーケティングを評価すること・リスクマネジメントやガバナンス・フレームワークなど考え方や手法（ごく一部ではあるが）を理解し、実践に活かしている。
- 特に演習での事例検討での学びが活用できていると感じる。管理上の課題を明確にする際の分析や取り組みについて、少しはフレームを用いながら考えることができるようになったと感じる。
- 損益計算書など、会計に関する部分がより理解できて分析でき、意見の提言に知識を活用できている。
- 細かな会計の事まで身につけることはできませんでしたが、機器の更新や消耗品の見直しの際には、ランニングコスト等も視野に入れた内容を検討出来ています。

「いいえ」の回答者

- フレームワークを活かしたいと思っていますが、まだ体に染み込んでいないようです。ですが、こういう時に使うんだらうなあとと思う時があるのできっと活かしているんだと思います。

質問4：プログラムの講義・演習等で改善・追加した方がよいと思うことはありますか。

はい 4

いいえ 10

質問4ではいと答えた方は内容をお書きください。

- 褒先生の演習は実際にありそうな内容でためになった。
もっと実際にありそうな事例を提示して意見を出した方が分かりやすいかもしれない。
- 簿記の知識がないので、管理会計について勉強したかったです。
- 演習の実際の例の結果を色々知りたい。
財務などで、数字の見方（読み方）を学びたかった。その数字がどういう意味をもっているのか、どういうことが考えられるか・・・など。
- 私自身の問題かもしれないが、病院経営学実習について、レポート提出の延長上に病院実習が開始された印象でありました。実習開始前に実習導入として、意識付けして頂くと実行に向けて整理出来ることがあったかな、と感じました。

質問5：修了後の支援を希望しますか。

はい 11

質問5ではいと答えた方はどのような支援を希望しますか。

- 病院経営マネジメント あらたな理論、フレームワークの紹介 修了生のフォローアップ研修 セカンドレベル?研修
- 病院経営に関する講演や演習などがありましたら、また参加したいと思います。情報を頂ければ幸いです。
- 財務会計について定期的に勉強会をしてほしいです。演習ももっと受けたいです。
- 明確な事は現段階ではわかりませんが、何か困った時に相談等をさせてもらいたいです。
- 受講のみのobserverシステムとか。膨大な情報の更新が大変なので、受講で新しい制度や方向性など、まとまった情報やそのまとめを短時間で得れるなら、ありがたい。もしくは「新着情報図書館」みたいなページを作って、受講者や修了者のみアクセス出来るようにするなど。けどこれは管理するのに人も時間もいるから、年間利用料とるとか……。新着情報のみならず、講義の内容や情報なども可能なら載せてもおもしろいかも。
- 業務上の課題解決で困難を感じたり、何か大きなプロジェクトを行うなど支援が必要だと感じた際、アクセスできる窓口があると有り難い。
- 集患に対し、現状の対応等の内容が限界点であるのかどうかを含め、実践している方法の他に対策があるのかどうかのご意見を頂きたい。
- 行き詰まった際や質問の相談窓口などがあれば良いと思います。
- 病院経営学実習で頂いたアドバイスは貴重で、いろいろと考えることができました。メンターのような支援を頂けると有難いです。

質問6： 今後はオンライン講義がメインとなっていきますが、オンライン講義の改善点をお書きください。

- 事例検討はオンラインでも問題ない。学習の進め方（自分がいつまでに何をするといいのか）が分かりにくかった。
- グループワークでは聞き取れない場面があったため、受講生にヘッドセット装着が必要と感じました。
- 講義スタイルによっては単調になりやすいので、受講者側の緊張感が薄れ眠くなってしまう点。顔出し必須にするとか、名指しで当ててもらうなどがあれば良い。
- コロナの影響によって、はじめてのオンラインでの講義でしたが、時間を有効に使うことができ、逆にありがたかったです。ときに映像がぼやけたりして見えにくいことがありましたが、おおむね問題はありませんでした。
- オンラインってなんでもできるんだなと感じました。強いて言えばグループワークの際に、講師の先生とも話しながら色々な話を聞きたかったです。
- 可能な限り、顔を出して参加する方が良いのではないかと思います。表情なども見ながらディスカッションしたいです
- 対面と異なった不自由さはあるけど、遠くから受講することを考えると、交通費が浮くだけでも利点が上回る。あとは慣れだけでは・・・？

- 特にありませんが、状況が許せば顔を合わせる機会があると良いと思う。
- 講義をうけたメンバーとの、研修終了後に交流が図れるような点も含め、グループワークの時間があればよいと感じた。
- オンラインだと、座りっぱなしで体が痛くなるので、たまに体を動かせるような時間を設けても良いのではないかと考えます。
- 受講中のトラブルを事務局または講師に知らせる方法が明確であるとよいと思います。画面上のやりとりで解決することが多いと思うのですが、複数が気づいている中、誰が知らせるのか迷ってしまう場面もありましたので。
- 途中で切断されてしまった際の再度の接続に必要な手順を教えていただきたいです。

その他、ご感想等ご自由に記載ください。

- 経済はやはり難しい。
- 菅沼先生はじめすべての講師の先生方、事務局の皆様にご感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。
- 受講者の方と会えなかったのが、残念でした。交流目的で、あえて自由なおしゃべりタイムとかを設けてみたらどうでしょうか。
授業は楽しかったです。ありがとうございました。
- 1年間に渡って大変世話になりました。病院経営学という違った視点で医療を見ることができ、大変有意義なプログラム内容でした。今後とも引き続き、ご指導よろしく願いいたします。
- 1年間は短かったですが、濃厚な1年でした。もう1年勉強したかったです。ありがとうございました。
- 今回1年間学ばせていただいたことで、新たなことを学ぶ楽しさを思い出しました。
臨床も大事ですが、マネジメントの重要性を再認識しました。
また、1部署の改革はできそうですが、病院全体の改革をしていくためには今の自分では色々難しいので、今後、大学院に進学を検討中です。
1年間ありがとうございました。
- 座学だけでなく、座学を生かした実習に取り組むことによって学びが深まったと思います。
また、ご教授いただいた先生方と価値のある出会いができましたことに感謝いたします。
- 個人病院で赤字やギリギリ経営だったり、人手不足だったり、それでいて、臨床のみならず、経営にも携われる位置で雇ってくれるところを、現在探して（就活して）います。物好き？
- 1年間お世話になりました。先生方、担当事務の皆様ありがとうございました。
- 急性期にはない慢性期の課題は多くあるため、マネジメントを学習する機会として、慢性期の医師、看護管理者へも参加が啓発できれば、医療の連携として地域マネジメントが効果的になるのではないかと感じた。

- 1年間、本当にお世話になりました。
コロナウイルスのこともあり、準備等ご苦労されたことかと思います。
この学びは、今後の私自身の考え方を大きく変えるものとなり、来年度は大学院にチャレンジする気持ちにもなれました。1つだけ心残りなのは、皆さんと対面でお会できなかったことです。
本当に、多くの学びをありがとうございました。
- 2020年はコロナ禍となり、それまでとは異なる方法で研修を実施しなければならなくなったことは、講師、事務局の皆様の準備が本当に大変だったと思います。お陰様で私は不自由なく、学ぶことができました。心より感謝申し上げます。残念ながら、お会いしてお話しする機会をもつことは出来ませんでしたので、今後そのような機会がございましたら、ぜひお知らせ下さい。
- 色々な立場の方のお話しや考え方を聞くことができ、とても参考になりました。
1年間、ありがとうございました。